

# いきがい

発行日：平成16年9月6日  
発行者：南足柄市シルバー  
人材センター  
企画・編集：会報編集委員会  
発行所：〒250-0105  
南足柄市関本403-2  
電話：72-0789  
FAX：73-4055  
ホームページURL：  
<http://minamiashigara.hp.infoseek.co.jp>

豊かな経験 生かそう技術 「生きがいを仕事の中に得て」

## 目次

豊かな経験 生かそう技術	1
月村理事長あいさつ	2
総会報告・表彰	2
新役員紹介	3
新入会員紹介	3
出張 はればれ市	4
地域班について	5
奉仕活動のお知らせ	6
安全特別寄稿・編集後記	6



本号の表紙を飾るのは、職群班として忙しく市内を飛び回っている杉本班です。取材に行ったのは、怒田の善福寺さん。真夏の日差しがとても強い日でした。こちらのお寺さんとセンターとのお付き合いは長く、10年を超えるお客様です。広い境内と墓地の清掃管理を年間を通して請け負っています。伺ったのはちょうど休憩時間で、本堂前の涼しげな日陰でご住職を交え楽しく談笑をしていました。



杉本班は、外仕事なら何でもOK。構成員12人の班ですので、少人数ではできない寺院など仕事はもちろんの事、一般家庭からの仕事も杉本班長が適切に班員に割り振り、その仕事ぶりに惚れ込んだお客さんは、必ずリピーターとして、再発注があります。

余談ですが、休憩時間にいただいた梅ジュースとてもおいしかったです。

(た)

安全は  
みんなの  
合言葉

全シ協 安全就業全国統一スロガン



今年は、空梅雨でとても暑く、梅雨が終われば30度以上の猛暑。猛暑の日が連続し、草木もうなだれ、里芋の下葉が早くに色付いてしまいました。

会員の皆さんには、日頃シルバー人材センターにご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、本センターも4月に鈴木新事務局長迎え、理事も一部入れ替わり、半年を経過したところで執行体制も落ち着き残暑に負けず頑張っています。

センターでは、一昨年度、総務部会が中心になり、平成15年度から平成22年度までの8年間を対象期間とした中長期「基本計画」を策定し、総会の席で会員の皆様にお知らせいたしました。

内容は、センターの概要や計画策定の背景、当センターの進むべき道等を挙げ、それらの実現へ向け、「財政の安定」「会員の強化」「組織の充実」等について、3～6項目の課題と具体的な計画を掲げております。昨年度は、入会促進や就業開拓の分野や子育て支援事業の推進に力を入れ、着実な実績を挙げて参りました。

また、昨年12月、臨時理事会で制定された適正就業推進交替要領により、特定の会員が特定の業務に長期間継続して就業することがなく、できるだけ多くの会員が能力と希望に応じた公平な就業の機会を得られるよう長期就業の是正に取り組みました。まず初めに、公共機関から受注している18の業務を対象とし、就業期間最長3年を限度といたしました。

4月より交替対象会員に対して個別面談を行い、それぞれの意向を確かめ、皆様のご理解とご協力により、交替も順調に進んでいます。

平成16年度は、基本計画の中でも特に、地域班の設置、職群班の設置に重点を置きました。

地域班、職群班とも会員相互の連帯意識と

親睦を基調とし、センターと会員との緊密な連絡体制を整え積極的意欲を持って事業に参加していただくことを目的としています。

職群班は4月、地域班は8月に設置され、各班長さんも決まりました。今後の活動が期待されます。

最後になりましたが、シルバーは安全が第一、安全心得10か条を忘れずに！天候不順が続きますが、会員の皆さんも体に留意されお互い頑張りましょう。

## 総会 / 表彰について

### 平成16年 第1回通常総会

本年度の事業計画と収支予算に係わる3月総会は、3月24日、248人が出席し、盛会のうちに行われました。

事業計画では、「会員組織の強化」「安全・適正就業の推進」「独自事業の実施」の3つの重点事項が掲げられ、それぞれについての具体的な計画案と総額1億4千9百万円余の16年度予算が承認されました。

また、永年就業会員12人の表彰がなされました。お名前は下記のとおりです。

#### 会員永年就業表彰（就業活動6年以上）

足立 功	上野 美德	苅部トヨ子
小出 綾子	清水 恪	志村 貞英
杉本 光男	杉山 勇雄	高部 定治
原 セツ子	牧田 利一	松井 英二

### 平成16年 第2回通常総会

5月28日に、共学館において今年に入って2回目の総会が、会員254人の出席の中で行われました。

まず、平成15年度の事業報告並びに収支決算が承認されました。次に、任期満了による役員改選が行われ、次頁に記載の16人の理事が選任され、引き続き、別室で全理事による三役の互選を行った結果、月村常男理事長、加藤修平専務理事、鈴木大常務理事の執行体制が決まりました。



# 独自事業として 初の 出張野菜市

はればれ市 野菜作りグループ

H16.7.23 弘済寺 地蔵まつり へ出店



境内は子ども達で溢れていました。

今年の夏のはればれ市は、弘済寺地蔵まつりにテントを2張設置し、初めての外部出店をいたしました。地蔵まつりは、人出約400人位、子供連れの若い奥さんが多く、広い境内は人人で賑やかで、出品野菜の西瓜・南瓜・瓜・ピーマン・トマト・サツマイモ・枝豆等、早々に売切れ御免。他にもセンターで出店した餅や焼き鳥屋も好評でした。

## センター行事に参加しよう

会報編集委員 古屋 敏子

7月23日に行われた弘済寺地蔵まつりにシルバー人材センターが様々な形で参加いたしました。理事長はじめ、野菜作りグループの人達やばーば倶楽部の方、そして有志の会員・職員です。野菜即売会、焼き鳥、竹細工コーナー、餅つき等により、お祭りの雰囲気盛り上げることができました。

このお祭りには、初めて参加しましたが大勢の老若男女が来られたのが驚きました。何処となく郷愁を感じ、心和むひと時を過ごしました。

会員の皆さん！皆さんももっとセンターの行事に参加してみませんか？一人でも良し、仲間とでも良し、社会参加の一つとして、健康のため、気分転換のため・・・etc。今後も、秋には親睦旅行や奉仕活動、冬のはればれ市等催し物も目白押しです。会員同士が、仕事やボランティアや趣味等多く参加することで、ふれあいの機会を持つことができます。

是非、次の機会にたくさんの会員の方々とお会いできるのを楽しみにしております。



事務局はつきたてのおもちを販売。  
ばーば倶楽部は、焼き鳥屋を出店。

はればれ夏野菜市(スイカやカボチャなど)は大好評！  
開始2時間で売り切れ御免

竹細工体験コーナーは  
小澤義男会員にお任せ下さい。

# いよいよ始動！地域班

## 地域班 発足にあたり



関本・向田班  
地域班々長 草山 優治

当センターも、設立以来13年を経過し、会員の皆様をはじめセンターを取り巻く様々な人々のご協力ご尽力により、会員数が340名を超えたことは、大変喜ばしい事です。

会員数の増加に伴い、センター運営も内容の充実をし、更に改善すべき点があります。

その一例が、今年度より実施された長期就業の是正を柱にした適正就業の実施であり、また、さらには8月から施行された地域班の設置です。この地域班は市内を7地区19班の構成に分け、地域に根ざした会員組織の強化をねらったものです。

会員の皆様は、普段、市内の様々な場所で多種多様な仕事に携わっていますが、地域班の設置により、自主・自立、共働・共助の基



第1回 班長会議の様様(H16.8.6)

本理念のもと、南足柄市シルバー人材センターの一員である意識付けと、連帯感を高め、今後は、発注者並びに会員の皆様の意見や要望などの情報を汲み上げ、センター運営に反映できるような地域班を目指して、活動を進めて行きたいと思っております。

それぞれの地域の班長に対し、皆様の声を遠慮なくお聞かせくださるようお願い申し上げます。

## 伊勢原市シルバー人材センター「ふれあいショップ」を視察

去る、8月20日(金)、当センター独自事業推進委員並びに地域班長(総勢27名)による伊勢原市シルバー人材センター(理事長 佐伯省三)への役員視察研修を実施いたしました。

視察の内容は、独自事業として市内の一般家庭等から粗大ゴミとして出される家具のリサイクル販売をしている「ふれあいショップ」の運営についてです。説明を受けた役員さん等からは、活発な質疑が繰り広げられ、新しい事業への強い関心が感じられました。伊勢原市シルバーの会員により磨かれたタンス・机に驚き、また、その価格の安さ(500円~3000円程度)にさらに驚かされました。視察に参加したOさんは、帰り際に2台で500円の棚を購入し、仲間の助けを借りながら、それらをなんとかバスに乗せることができたようです。

市外の方でも購入できるそうなので、軽トラックで、のぞきに行ってみてはいかがでしょうか？(ち)



熱心に説明を聞く当市SC役員



ふれあいショップ内

伊勢原市SC「ふれあいショップ」

伊勢原市八幡台2丁目965-40

電話 0463-93-9141

開店日 毎月第1・第3 金・土曜日 9:00~16:00

## シルバー 秋の恒例行事「一日奉仕活動」参加者募集のお知らせ

期 日：平成16年10月5日(火)  
9:30 ~ 12:00(小雨決行)  
9時半に現地に集合してください。

場 所：南足柄市立むつみ幼稚園(74-4715)  
(和田河原駅より徒歩2分)和田河原323

内 容：園庭の草取り・植木の手入れ等  
ご自身のやりたい仕事の道具を適宜お持ち寄り下さい。  
草取り：草かき、鎌等  
植木の手入れ：脚立、剪定ばさみ、刈り込みばさみ等

参加者には、互助会で**お弁当**を用意いたしますので、奮ってご参加下さい。

申 込：事務局までお申し込み下さい。(電話72-0789) 締切日/H16.9.30



### 安全就業特別寄稿

今年の5月、就業中に怪我をした会員Mさんに安全についての特別寄稿をお願いしました。

#### ゼロ災害に向けて

匿名希望(会員M)

病院などでよく見かける高齢者の痛ましい怪我の様子、同年代の方と推察し「如何されたんですか?」と話しかけると「いやーっ」とバツの悪そうな様子。聞くところによるとその方は鳶職で、いつも若いものには、「安全!安全!」と口喧しく言っていたが、「まさか俺が落ちるなんて想像もしなかった。」としきりに反省していました。

我々シルバー会員も、現役の頃、ゼロ災害をモットーに働いていたことを、いま一度思い出し、作業現場での自身の安全を常に念頭に置きながら作業をしましょう。

災害の発生するポイントは、現地から次の場所に移るときの気を抜いた時や、「休憩!」のひと声でホッとした時など、また「俺だけは・・・」と言う様な自信過剰の場合などがあります。

一人作業する場合は自分自身の気持ちを律し、複数の場合はお互いに声を掛け合いましょう。そしてシルバーという第二の人生を楽しく過ごしましょう。

10月はシルバー人材センター普及啓発月間です。  
**全国一斉「シルバーの日」事業  
りんどう会館周辺を美化清掃!!**

今年で3回目を迎える「シルバーの日」。全国のシルバーが10月中に日時を設定し、工夫を凝らした事業を実施しています。昨年は、ばーば倶楽部の無料開放週間で賑わいました。

今年も、りんどう会館周辺の植木の手入れ等のボランティア就業を計画します。

日時などの詳細が決まりましたら、改めて募集いたしますので、こちらも奮ってご参加下さい。



昨年の「シルバーの日」事業は、ばーば倶楽部で芋煮会などを実施しました。

### 編集後記

異常な暑さと相次ぐ台風の中ではありますが、会員の皆さんには元気で活躍されている事と存じます。今回の会報「いきがい」は、従来の郵送ではなく新たに設置された地域班長さんによる手配りにより、皆さんの手に届いたことでしょう。今後も地域に根ざした班活動が期待されます。

この1年間で会員数も飛躍的に増え、組織も充実して参りました。センターの目的や趣旨を会員一人一人が理解し、事業に参加致しましょう。

(会報編集委員長 鈴木 薫)